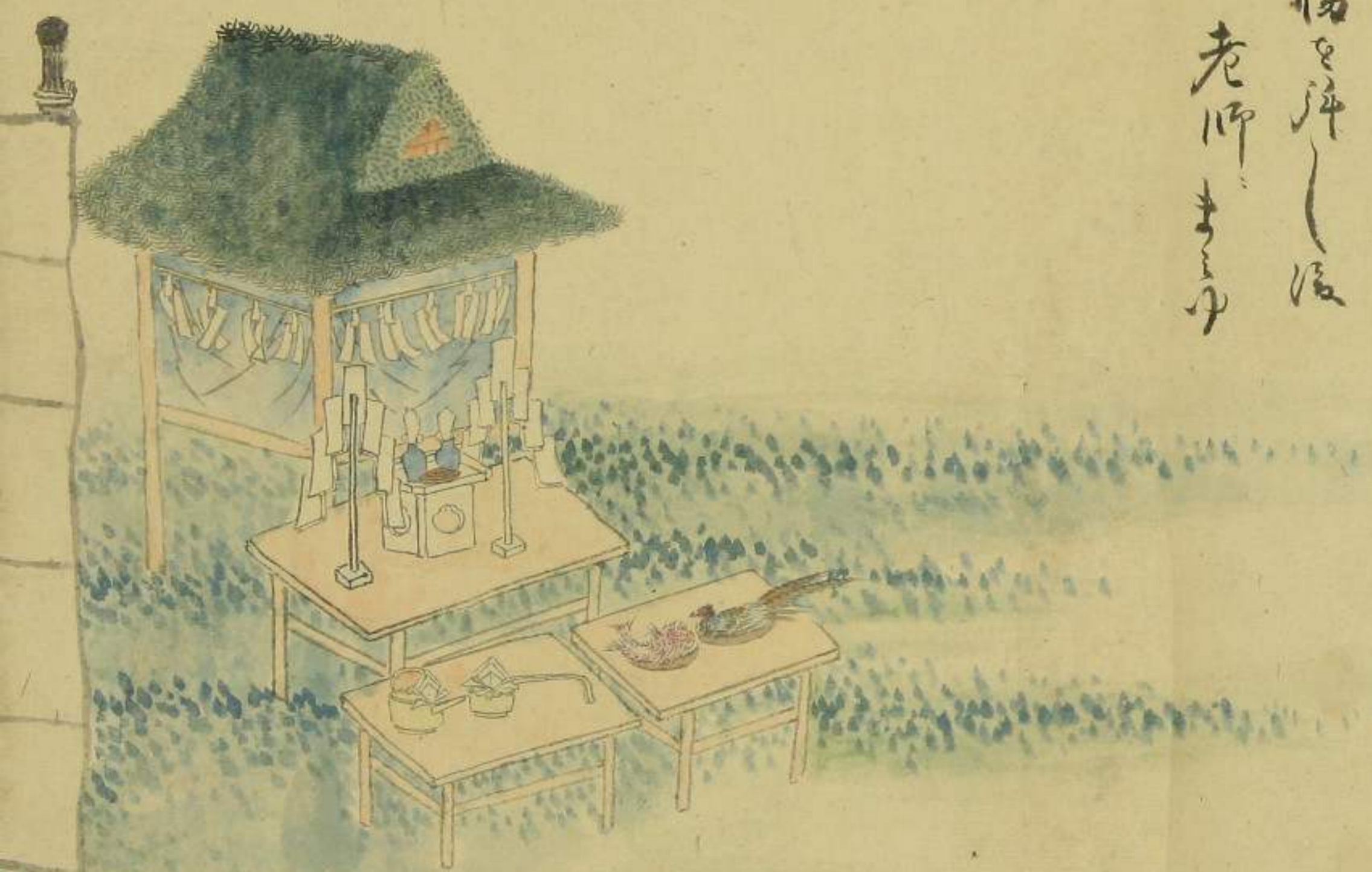
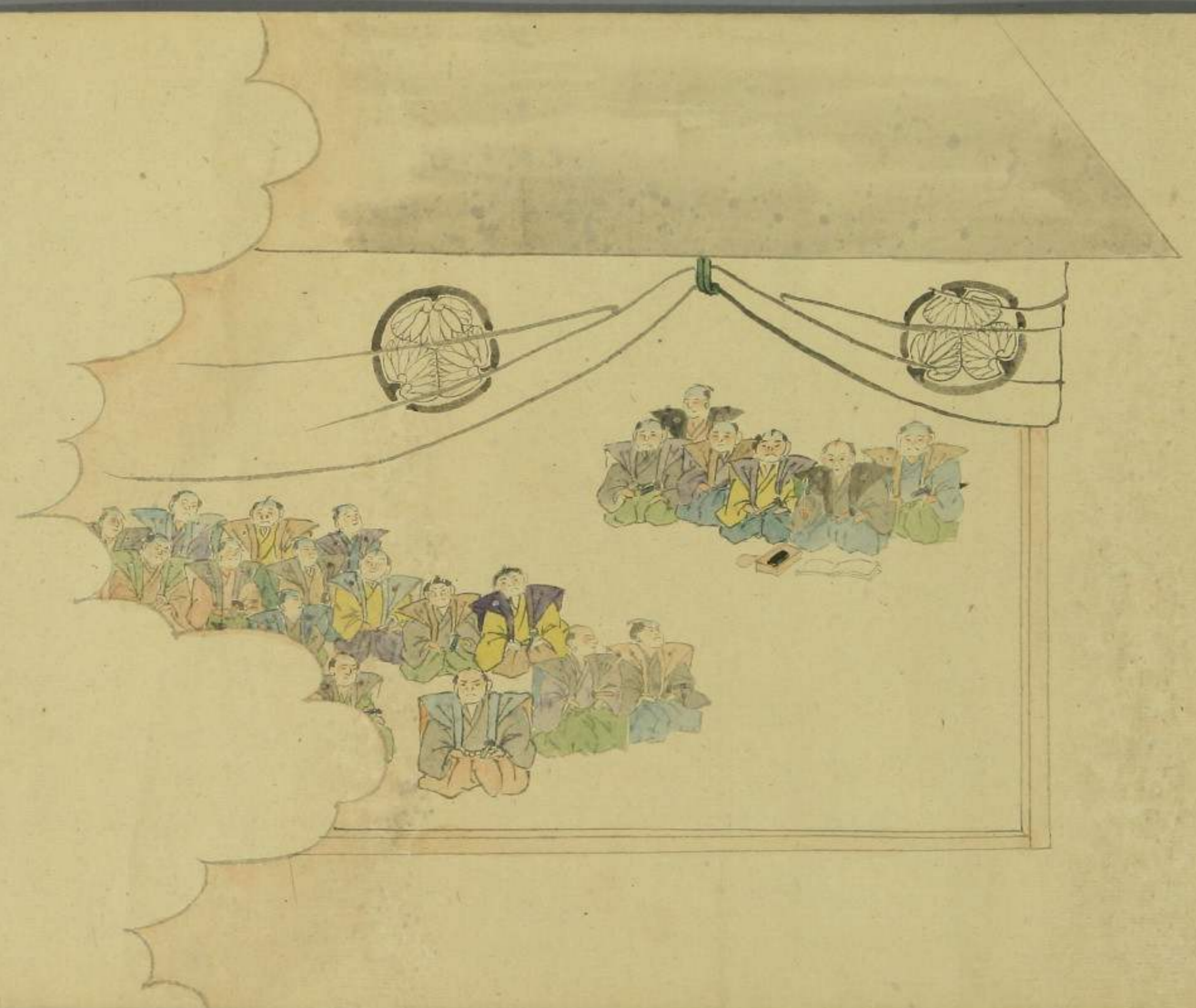


五色的
射式畫卷





狩
 古
 八橋と評し後
 老師



狩手

長老の父

八幡を拜し候

老師



世に役の會

着到り候

下村

かま

世に役の會

着到り此處

下射を
かましむ



此の所成之室に載せし

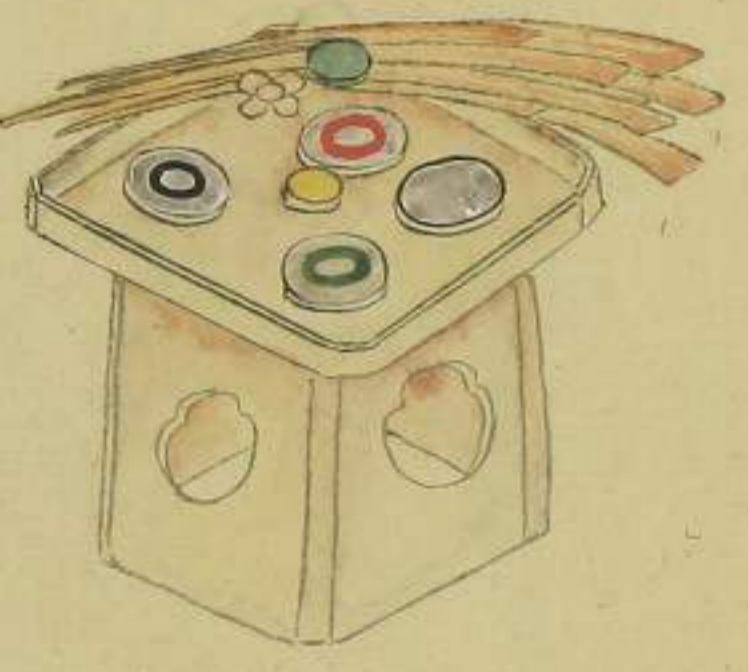
乃一品中儀案と云ふ也

至る一射也

一説習しむ

的を四季を

之を古用しむ

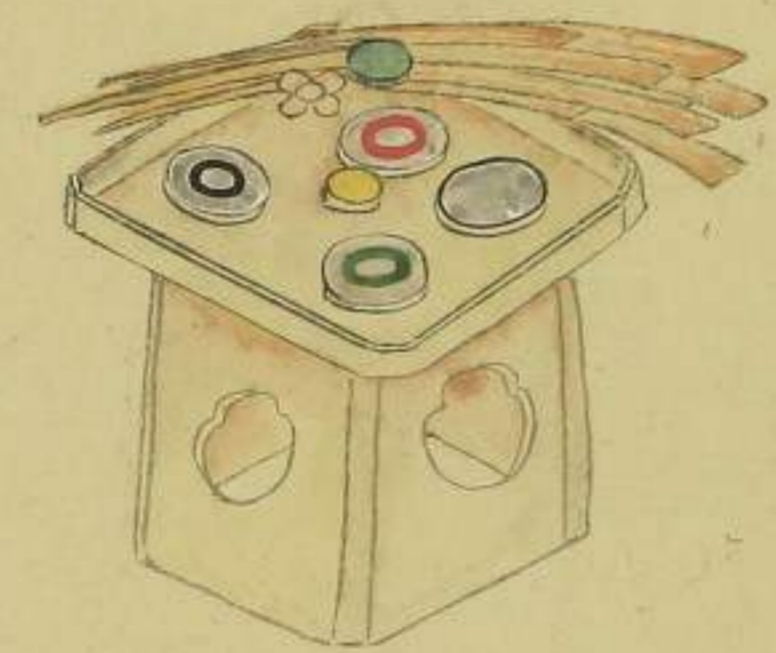


五之的成之富中載七
 乃一品中積案之於好
 至一附手
 一

一說習一也

的之四季

三十七用一可



又之的成附三一如

日亦一入二的也

四ッ身

禮附

附

日記之原

あ

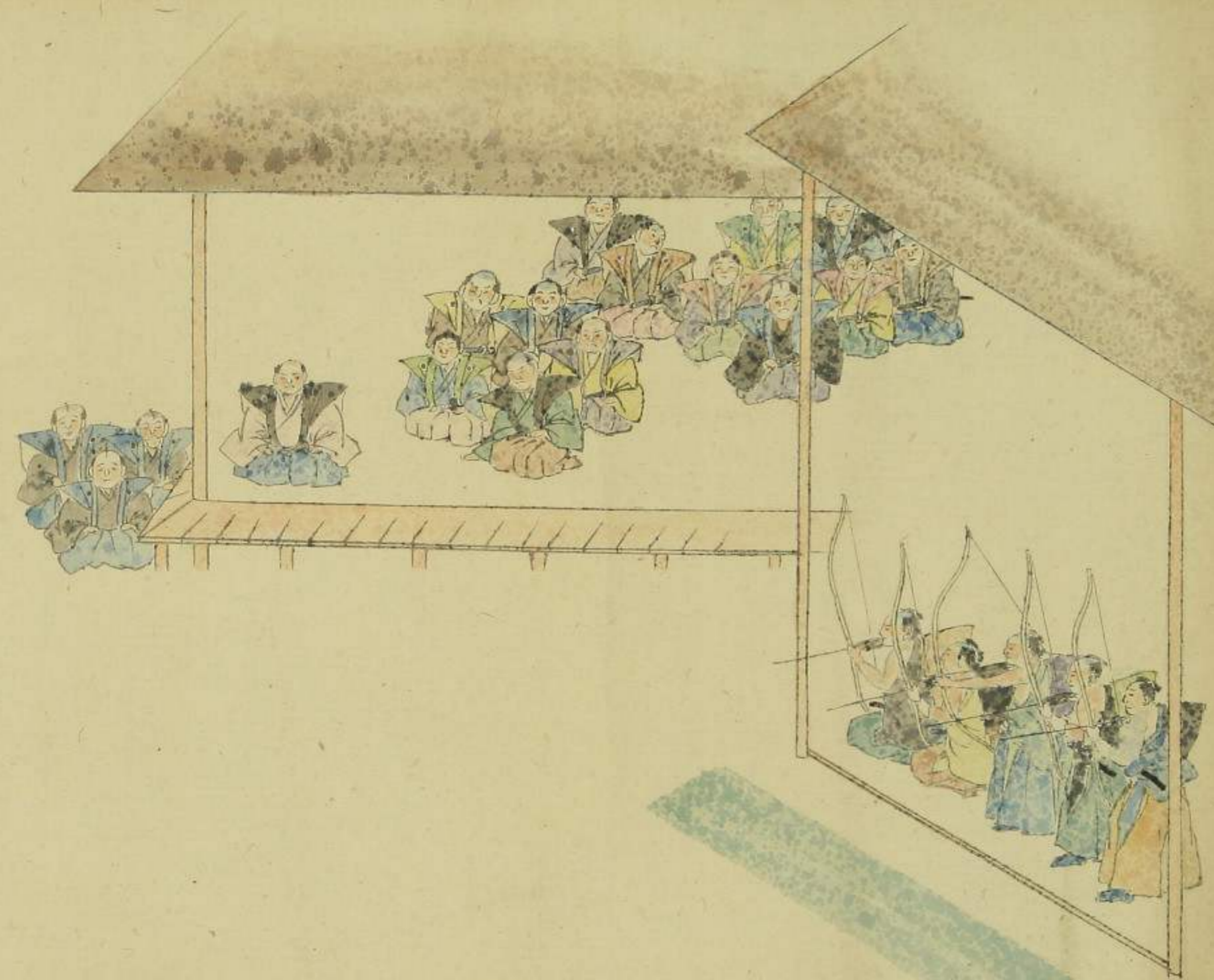
~~~~~



又之的紙射三〜也  
 日有之天二的也  
 四ツ矢を  
 禮射く  
 射く〜也  
 日記之屋  
 あ〜  
 〰〰〰



弓具法五人  
相見  
洋





弓具は法五人

相見 5x  
汗 5x



凡人百練の徳也

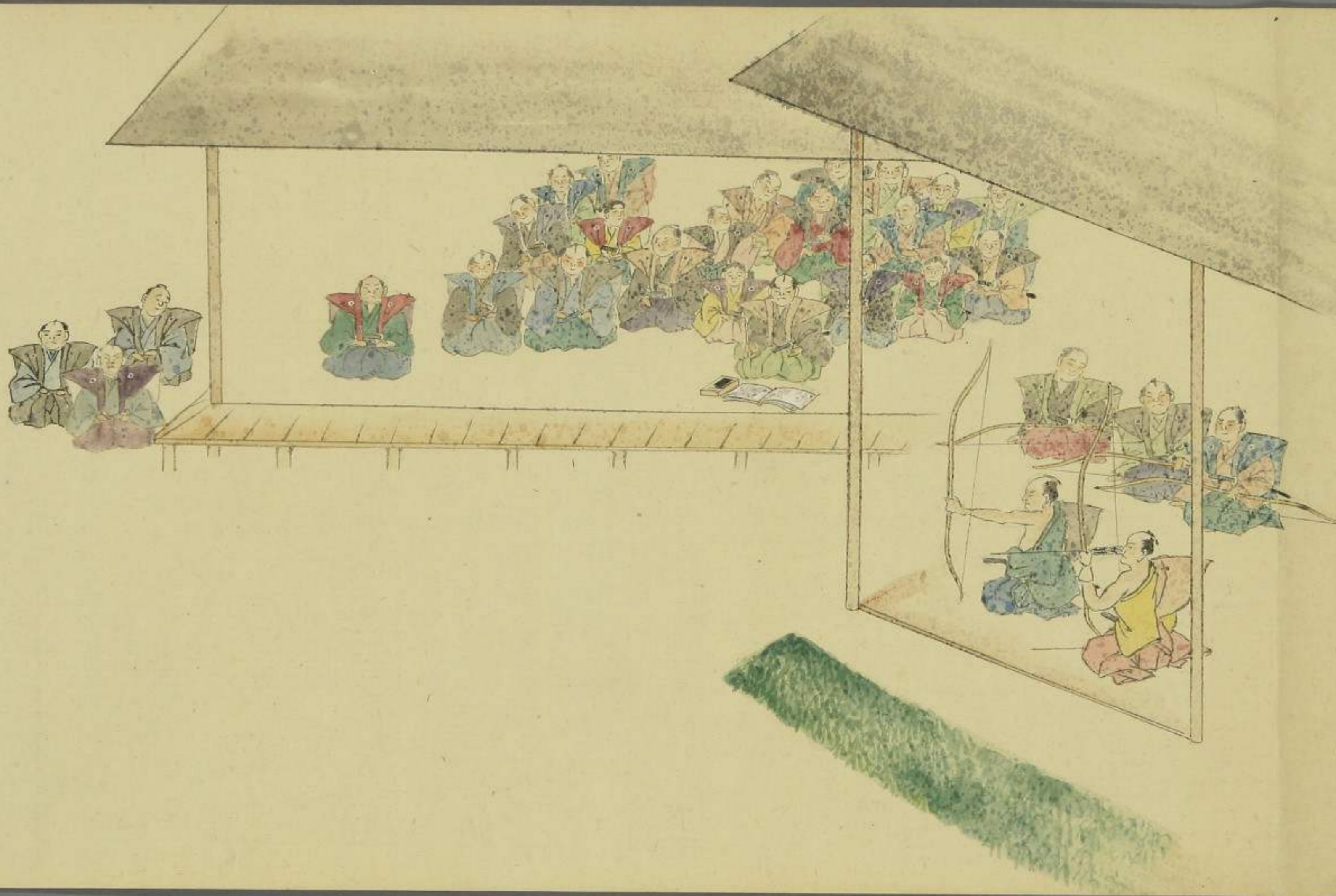
法之業の  
自主なる也

師存

河志と云







門人百練の徳也  
 師業の  
 自正なる所  
 師業  
 河忠と云





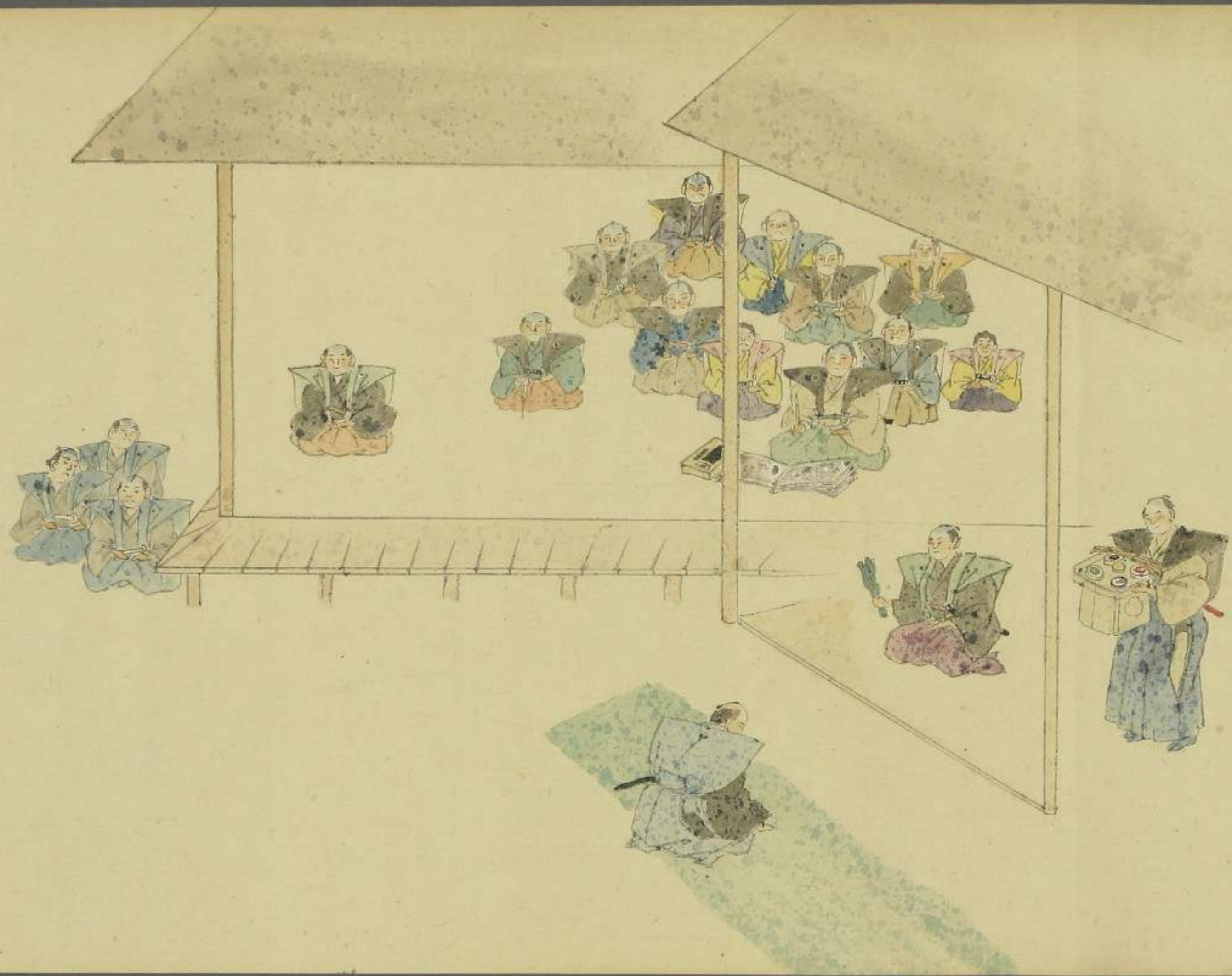
世役五色の成  
巧より尼  
役人、涙す



世話役五色の成

つくり己

役人、活す



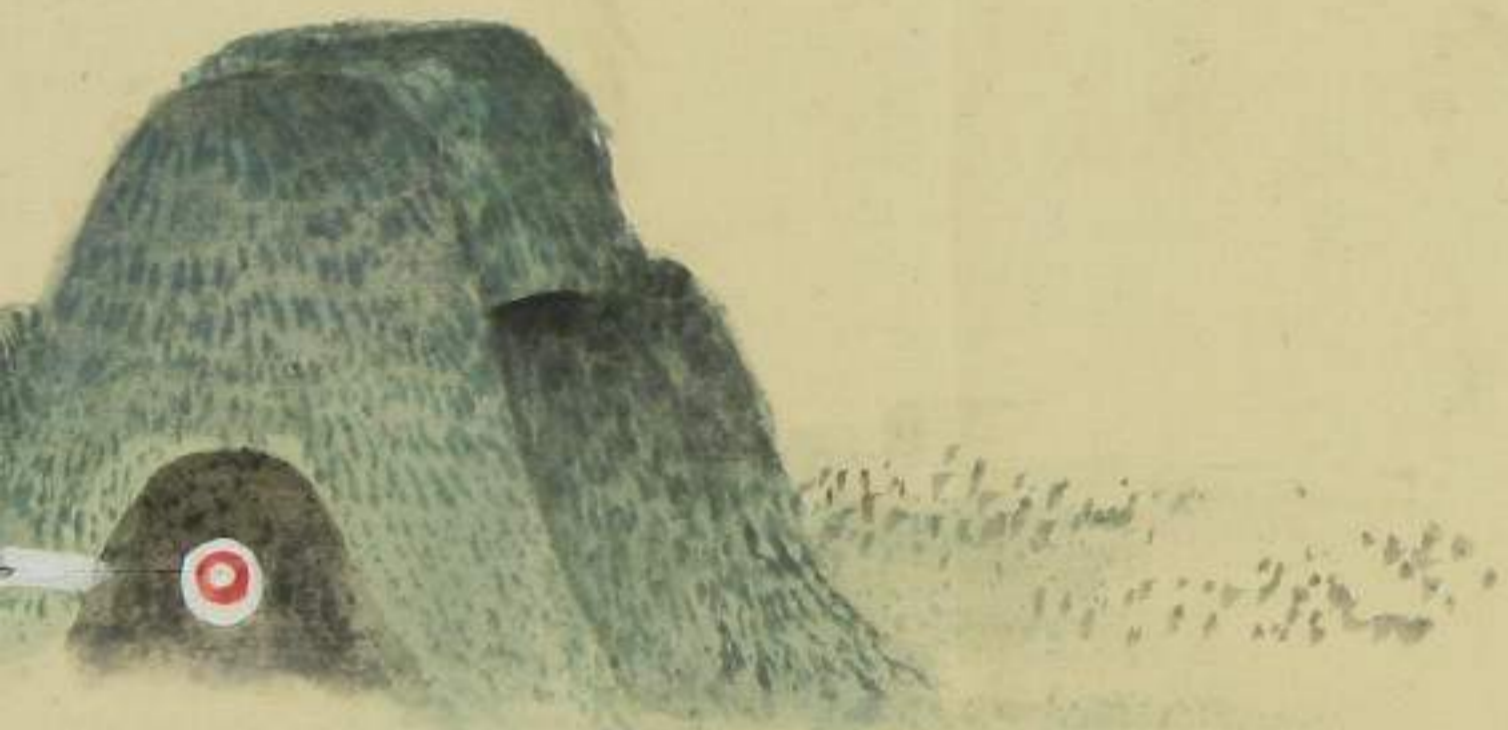
村と惣一側

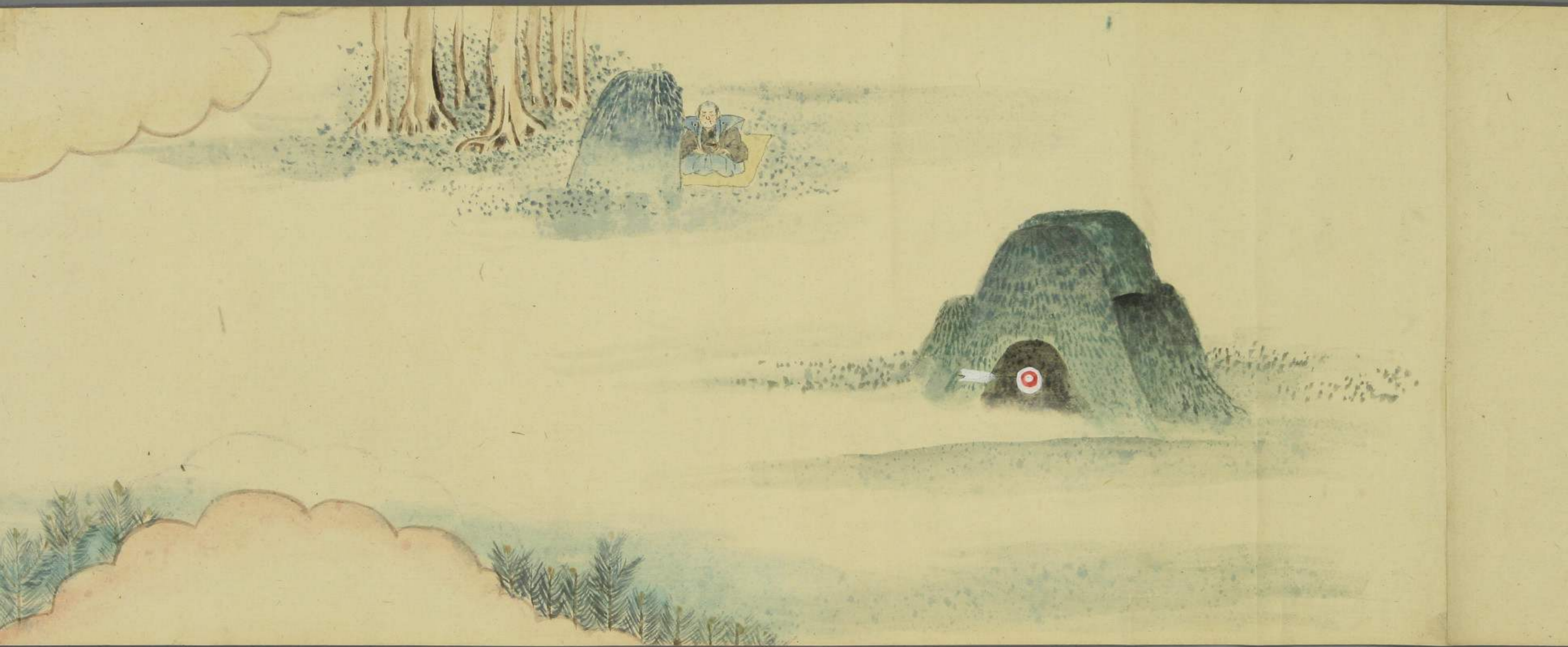
五色の村





打心惣一側  
五之釣と打心





的春者青夏者赤去用者黄秋者白冬者  
 黑也一々射ぬ人毎々如く矢を射たり  
 海に舟に掛るハ情の神也、捧るるリ  
 竹賞養志禁りて清取ゆふ





的春者青夏者赤去用者黄秋者白冬者  
 黑也一々射物人爲之如く矢入射た  
 由らに指之ハ情の神多ハ捧るるリ  
 竹賞券者禁りりて法取ゆふ



去用之金の的者、とらひさうしてあはよて者  
 三為目月次の多て七為目の的なりきて  
 一也一の矢あつて、つとて又射せぬるは  
 以去用的も、り者去夏の的なりとて人  
 とも極許して射き、むらもや、去夏の的を  
 射あてたる、獲使心なりき、又射的をも  
 とも射あて  
 たる人、は日法  
 最并一、  
 最并一、  
 去用



去用

大用之金の者、うちいさるてあをよて者  
 之為目月次の多て七為目の的ありて  
 一在しの矢ありて、つとて又射をぬるは  
 此大用的も、り者甚復の的ありて、人  
 もも極許して射をむるもや、甚復の的を  
 射ありて、廢失の心ありき、又此的をも  
 ともに射ありて  
 たる人、は日後  
 最並一とて  
 画りて、



大用



八備一貫たきま

備へたき射

五人、一渡

Handwritten signature or mark.

八幡へ買たるまき

備へたるまき

五人、酒

酒



ありたるまきへ神酒を飲しむ是大勢の  
射多しうらまて日らの五人之若古利とまに  
ニッ射たる人有時五人あり射外したる  
人多し中にニッ矢あふたるまき  
いそんうらま

五色射式卷

5  
770

